

水土里レポート 投稿様式

投稿月日	平成28年12月28日
タイトル	水土里レポートを展示しました！
水土里レポーター名	水土里ネット福山 佐々田 愛

平成28年11月19日(土)JA福山市川口グリーンセンターで、グリーンセンター祭りが開催され、水土里レポートのくわいと用水の特集のパネルを展示しました。

グリーンセンター祭りでは、くわいの即売、米や味噌のすくい取り、くわいチップと「恋の予感」のおむすびの試食など様々なイベントがありました。食べ物のコーナーには、くわいが練り込んである「うどん」や焼芋、焼き鳥、焼きそばなどが売られ、来場者が沢山買っておられました。

特にくわいの即売では、会場から出てしまうくらい長い蛇の列ができていました。一人3袋までと制限が設けられていて、みなさん3袋購入され、大きな袋をさげて買い物をしておられました。



新しい米の品種「恋の予感」のおむすびとくわいチップを試食しました。おむすびは甘くてくわいはサクッと揚げてありとてもおいしかったです。



パネルでは、くわいの農業体験をしている福山市立川口小学校と新涯小学校とこの地域を流れる芦田川用水に絶滅危惧種の「スイゼンゼニタナゴ」が生息していることを紹介した水土里レポートを展示しました。



パネルを読んで下さる方に話を伺いました。

「地元の小学校で地元の特産物であるくわいを使って農業体験してくれているのが嬉しい。身近な水路にスイゼンゼニタナゴがいることを知らなかった。」「くわいを多くの人を買うようになったのは、小学校で子ども達がくわいの調理実習をして家庭に広まったおかげじゃと思う。」と話してくださいました。

パネルを展示し多くの方の目にふれることができ、水土里レポートなど水土里ネット福山の活動を啓発することができたと思います。

今後も積極的に様々なイベントに参加し、21世紀土地改良区創造運動を広げていきたいと思っています。